



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 教育・広報部
2022年5月27日 No.461

2022年度 夏季手当⑤

経営側は現場社員の努力に目を向けるべきだ！

エッセンシャルワーカーとして 社会的使命をはたしている！

新型コロナウイルス感染症の「第6波」は、短期間で感染者が爆発的に増加するなど、社員や家族へも猛威を振るいました。

その中でも私たち社員は輸送品質を維持し、現在も自ら感染予防に努めるなど、鉄道の「安全・安定輸送」の確保に向け、全社員一丸となって社会的使命をはたす努力を積み重ねています。



東北新幹線の早期復旧を実現！ 全社員一丸となって災害を乗り越えてきた！

福島県沖地震で甚大な被害を受けた東北新幹線は、当初発表していた運転再開予定日よりも約1週間も早い4月14日に全線で運転再開し、5月13日には所定ダイヤでの運転に戻すことができました。

現地で被災設備などの復旧に尽力した社員をはじめ、全社員が一丸となって災害を乗り越えるために奮闘してきました。



会社の持続的成長の実現に向けて 会社諸施策を担っている！

2022年3月のダイヤ改正以降、各地で統括センターや営業統括センターが発足しています。「業務の融合」による乗務業務と駅業務との兼務などのほかにも、すでに「社員の多様な働き方の推進」や「ワンマン運転の拡大」「乗務員の担当業務間の相互運用」などの施策を通じて、社員1人あたりの労働密度を高めながら、生産性を向上してきています。

「変革 2027」のスピードアップは、会社施策を担う人財である「社員」が存在してこそ実現できるのです。そして社員の不断の努力によって、当社の成長を確かなものにしていきます。

3.0ヶ月の満額回答で評価すべきだ！